

福津市地域公共交通網整備計画 市民意見公募によるご意見・回答表

NO	提出された意見（概要）	対象事案に反映する： 1 一部する：2 しない：3 一部反映：4 反映ずみ：5	市（実施機関）の考え方
1	<p>①高齢者の運転による事故が増加し、社会問題となっている昨今、免許を返納しても、安心して生活が継続できる公共交通網の整備が急がれる。</p> <p>また、少子高齢化の迫りくる波は福津市も例外ではないはず。誰もが、住み慣れたまちで最後まで過ごすことができるよう、市のミニバスも市民の生活に合わせた形にしていかなければならない。その為に、画一的な計画にするのではなく、各郷づくり地域の実情に合わせた計画にしていく必要がある。</p>	5	<p>本計画の策定に際しては、アンケート調査や郷づくりごとの意見交換会を実施し、住民ニーズの把握に努め、高齢化に対応した持続可能な公共交通の確保・維持（課題①）を課題の一つとして捉え策定しています。</p>
	<p>②各郷づくりに出向きその地域のニーズを吸い上げ、計画に反映しなければならない。郷づくりと協働し、ミニバスの運営、運行を郷づくりに任せて「郷バス」を誕生させてみる。どこか一つの地区ができると、モデル地区となり、他地区でも始めやすくなるのではないか。郷づくりであれば、その地区の実情にあわせた運用ができると考える。</p>	5	<p>本計画では「目標Ⅳ. 公共交通利用への意識の醸成」の達成に向けた施策として「⑬地域やコミュニティと一体となった取組みの実施」を目指しており、コミュニティバスの運行における問題点や改善策の提案などについて、住民と行政が一体となって検討・実践する仕組みの構築を図ることとしています。</p> <p>また、コミュニティバスの運行が困難な地域などにおいて、住民が主体となった移動手段の運行についても、住民と行政が一体となって検討・実践する仕組みの構築を図ることとしています。</p>
	<p>③ミニバスと西鉄バスの路線が被っていない為、乗り継ぎも考えられる。ミニバスと西鉄バスの乗り継ぎ割引が可能になれば、双方の利用者数が伸びるのではないか。</p>	5	<p>本計画では「Ⅱ. 乗り継ぎ・待合い環境の改善による利便性の向上」の達成に向けた施策として「⑦乗り継ぎ割引運賃や企画切符の導入検討・調整」を目指しています。</p>
	<p>④病院や買い物などの、目的別のミニバスを運行し、利用者にとってわかりやすく、使いやすいバスにし利便性をあげる必要があると</p>	4	<p>本計画では、「各拠点に近接する住宅地・集落と各拠点をつなぐ支線軸」、「地域拠点と中心拠点をつなぐ準幹線軸」、「周辺の都市間をつなぐ幹線軸」を組み合わせ利用者の集約化による持続可能な公共</p>

	考える。		交通網の形成を目指しており、利用者の目的別の運行は目指していません。 利用者にとってわかりやすく、使いやすいバスとするため、「目標Ⅲ. 公共交通に対する安心感の確保」の達成に向けた施策として「⑨わかりやすいバス系統及び車両の提示」、「⑩わかりやすい乗り継ぎ情報の提供」を目指しています。
2	①一般的な話として、「基本方針」以降の具体的な施策がなかなか進まないものが多いように思います。	3	本計画の施策については、交通事業者など関係機関との調整が必要となるため、「7-3. 目標達成のために行う事業・事業主体・実施時期」に示す実施時期を目標に実施することを目指しています。
	②市内の車を持たない高齢者は、現状ではコミュニティバスの利用がしづらいので、地元バス会社の「高齢者用パス」等を利用している人も多いと聞いています。安心して暮らせる福津市、安心して「免許返納が出来る」地域交通網の形成に向けた取組を期待しています。	5	本計画では、「目標Ⅱ. 乗り継ぎ・待合環境の改善による利便性向上」の達成に向けた施策として「⑥乗り継ぎ運行ダイヤの調整」、「⑦乗り継ぎ割引運賃や企画切符の導入検討・調整」を掲げており、交通事業者とコミュニティバスの連携を目指しています。 また、「目標Ⅲ. 公共交通に対する安心感の確保」の達成に向けた施策として「⑪免許返納者に対する優遇措置の普及促進」掲げ、免許返納者に対する環境整備の普及を目指しています。